



R7 年度 第2号 (5月) 下鳥羽こども園 601-3963

〈 子どもの発達に合わせた食器を知ろう! 〉

園では子どもたちに合わせた食器選びを心がけています。

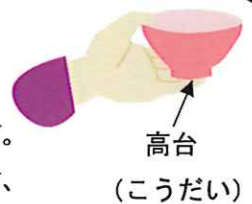
和食の基本である「1汁2菜」を基本とした給食でそれぞれの用途で使いやすい食器を使用し、年齢に合わせた食器を使用し、マナーも伝えています。

今回は、実際に園で使用している幼児の食器を紹介します！

幼 児

日本の食事マナー

姿勢を正しく保ち、食器を持ち上げて食べるのが日本の食事マナーです。園では幼児組になると、プレートからごはん茶碗にかえ、使用しています。お茶碗の正しい持ち方はおはしを持つ反対の手の親指をお茶碗の縁にかけ、残りの指で高台（こうだい）を支えます。上手に持って食べられるようになったらいいですね。



持ち上げて
食べようね



茶碗

汁碗

両手で
つつむように
持とうね

手の平に
乗せて
持って
食べようね

3・4才児



小皿
(副菜)

白皿
(主菜)

少し立ち上がりがあるので、
ちょっとの汁気のあるものでも
こぼれない

コップ



両手でしっかり持てるように
取ってがついていないもの

5才児



白皿
(副菜)

白皿
(主菜)



食具

スプーン・フォークは柄の部分にカーブがあり持ちやすくなっています。

おはしは子どもの手に合った 16 cmを使用しています

プラスチック製のおはしではすべりやすいため、

六角形の竹製のおはしにこだわっています

今は5才児が使用していますが、1月頃に4才児も使用していく予定です

次回は乳児の食器・食具を予定しています。お楽しみに ✨



R7 年度 第3号 (5月) 下鳥羽こども園 601-3963

〈 子どもの発達に合わせた食器を知ろう! ② 〉

前は幼児の食器について紹介しましたが、今回は乳児の食具・食器を紹介します！
園では子どもたちに合わせた食具・食器選びを心がけています。
給食は和食の基本である「1汁2菜」を基本としています。
それぞれの用途で使いやすい食器と、年齢に合わせた食具を使用しています。

乳 児



乳児は食器の数が多いと迷ってなかなか集中できず、1品食べになってしまいます。
園ではユニバーサルのお皿を使用し、1つの皿に盛ることによって集中して食事が食べられます。
食器を大事に扱ってほしいという思いから、全ての食器を陶器にしています。
割れないように大事に使ってね
※2才後半になると移行に向けて幼児の食器を使います。

口に入る部分が平たいのでスプーンに
食べ物が残らず、口の中にとりこみやすい



両手でしっかり持てるように
取っ手のついてないものにする
ことで安定して持てる



お 皿



お皿が動きにくく、
周りに返しがついているので
自分で sukuいやすいよ

汁 椀



両手で包むようにして
持ち上げて使おうね